

精索静脈瘤手術について注意点

乏精子症(精子が少ない)や、無力精子症(精子の運動性が悪い)などで精索静脈瘤手術をご検討の方々へ。

1 精子の減少や、精子の運動性の低下が起こる一因として精索静脈瘤はとても大切な因子の一つです。そして当然、男女とも年齢といった因子もとても大切なものであることも理解が必要です。

2 精索静脈瘤は、手術によって治療可能ですが、再発のことも時にありますし、手術を行ったにもかかわらず、残念ながら精子のデータが改善しないこともあります。

3 精子の質の低下、数の低下を起こすことは他にも多数の因子があります。また未知の要因も多くあると言われていています。現在多くの研究がなされています。

4 生活習慣の問題、喫煙、飲酒の問題、生まれつきのDNAの問題、つまり遺伝子の異常も関与が言われています。遺伝子の問題は今の医学では治療はむつかしいものです。

5 このように手術にて精索静脈瘤手術を行ったとしても、望むような改善がない症例が、残念ながらあることも覚えておいてください。

6 したがって、総合的なアプローチで、いろいろな良いことを組み合わせて、できるだけ精子の所見が良くなるように工夫することが大切です。

7 体に良いサプリメント的な処方、ある種の漢方薬や抗酸化ビタミンは大切です。

8 一部の、ミトコンドリアの活性化を図る物質、ミネラルなど栄養素も大切であります。当然体にとって良いものは積極的に摂取することが望ましいと考えます。

9 さらに、もともとの精子のデータが不良な人の中には、ある程度改善しても体外受精、顕微鏡受精、人工授精などの補助医療を、婦人科の不妊症専門クリニックで行うことが必要なこともあります。そして精子の異常の体質は時に男児への遺伝的影響も引き継がれる可能性があるかもしれない、とも最近は言われています。

10 このように、いろんなことを治療前に十分に知っておいてほしいと思います。

11 しかしどのようなことがあっても、当院スタッフ一同、あらゆる支援を行い、皆様の妊娠、赤ちゃんへの夢を実現させるように精一杯の努力をして参ります。あくまで治療の最終決定は患者さんの意思と希望が一番大切です。

12 質問や相談ごとはご遠慮なく申し出てください。出来ればパートナーと共にご予約の上来院相談にいらしてください。

すべては命のために。。。。医療法人男健会 北村クリニック ☎075-746-6301